社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 ２７年３ 月３０ 日

計画の名称	南千住地区における良好な住環境の整備		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 （5年間）	交付対象	荒川区
計画の目標	南千住地区住宅市街地総合整備事業に位置付けられている補助３２１号線は、地区内の道路ネットワークを形成する都市計画道路であり、一部未整備な状況にあることから、用地取得を推進し、早期の道路整備を図る。 本道路を整備することにより、地域交通の円滑化や、緊急輸送道路である明治通りと広域避難場所である都立汐入公園を結ぶ経路の確保による防災性の向上など、安全で快適な道路空間を形成し、より良好な住環境の実現を目指す。		

計画の成果目標（定量的指標）

地域交通の円滑化や防災機能の強化を図る道路ネットワーク形成に向け、必要な道路用地を確保する

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初）	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）	備考
① 地域交通の円滑化や防災機能の強化を図る道路ネットワーク形成に向けた道路用地の確保率＝道路用地の確保済み面積/道路用地の総確保面積	19%		21%	
②				
③				

全体事業費	合計（A＋B＋C）	62百万円	A	62百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0%

事 後 評 価 （中 間 評 価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

区内部で検討後、学識経験者及び地元住民から今後の事業のあり方について意見聴取を行った。

事後評価の実施時期

平成２７年３月

公表の方法

区ホームページに掲載

1．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
A-1	住宅	一般	荒川区	直接	荒川区	区道	新設	南千住地区住宅市街地総合整備事業	道路整備 延長 約430.0m	荒川区						62	
小計（道路事業）																62	

A2 港湾事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積・水深等）	港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
小計（港湾事業）																	
合計																	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
合計																

番号		備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

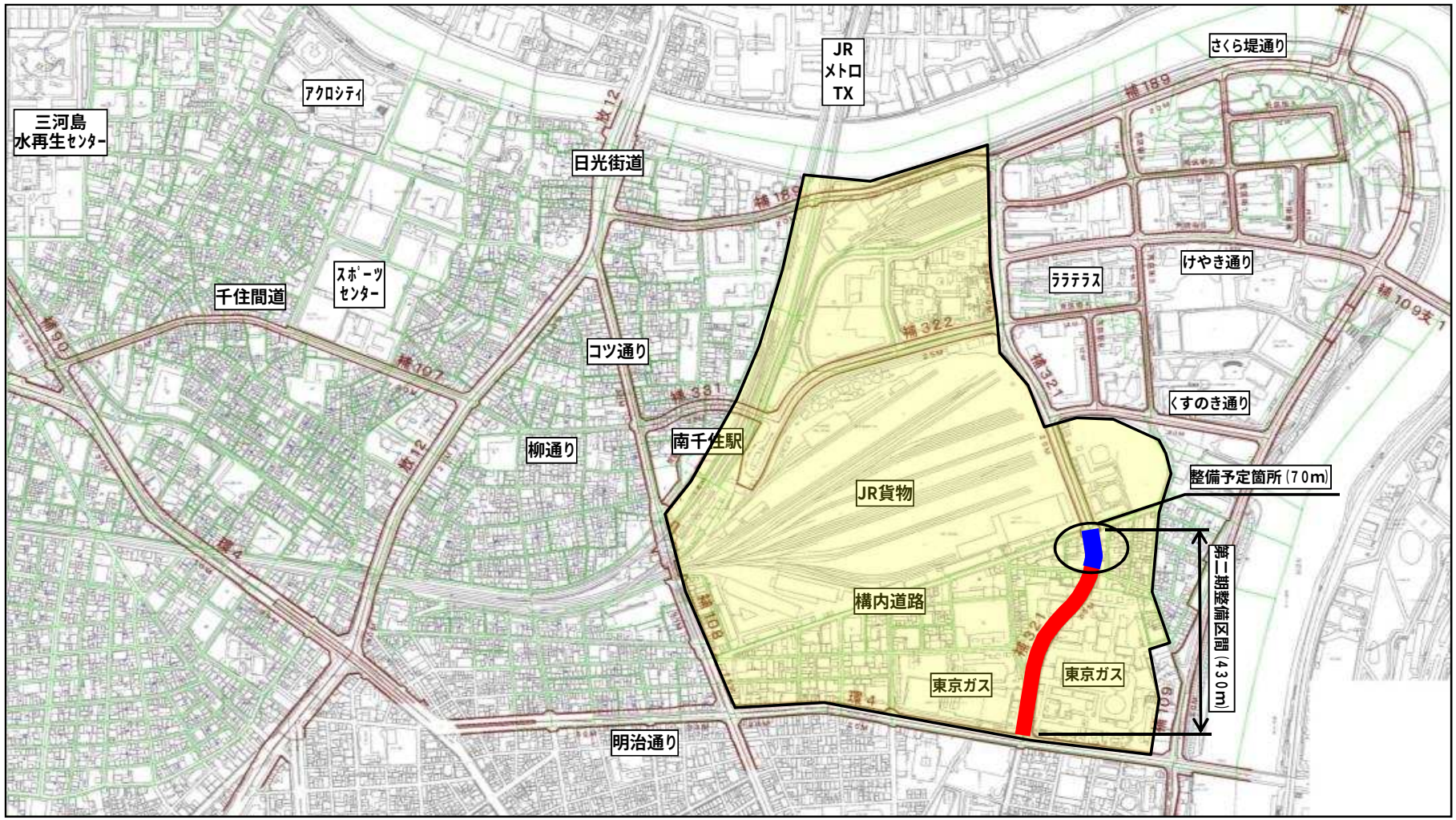
Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・補助３２１号線の道路用地取得率が２１％となり、道路ネットワーク整備に向けた土地取得が進んだ。 ・補助３２１号線の未買収用地が１敷地、一権利者となった。				
Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①（道路用地の確保率）	最終目標値	21%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	21%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）					

３．特記事項（今後の方針等）

・補助３２１号線沿道には日本貨物鉄道の隅田川駅が立地していることから、時間によってコンテナ輸送や宅配事業者等の大型車の右折滞留により、整備済区間と未整備区間との境で渋滞が生じている。
・補助３２１号線未整備区間の代替道路（現道）沿道には小規模ながら住宅街が形成されており、大型車による騒音や振動の影響が生じている。
・地元の住民からは、これら渋滞や振動等の解消に向けて、補助３２１号線の早期の整備を望む声がある。
・広域的な道路ネットワーク構築の観点から、補助３２１号線の整備が必要であるとの意見もある。
・以上のような意見を踏まえ、補助３２１号線の整備に向け、調整（財源の確保等）を継続する。

（参考様式３）　　住宅市街地総合整備事業整備計画図

計画の名称	1　南千住地区における良好な住環境の整備		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	荒川区



凡例

	補助321号線第二期整備区間（延長430m　幅員25m）
	整備区間（延長70m　幅員25m）
	住宅市街地総合整備事業エリア